

3 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 令和7年3月6日（木）
- 2 開 催 場 所 加古川市役所 新館9階 191会議室
- 3 出席した委員 小南教育長、溝口委員、播委員、土屋委員
- 4 欠席した委員 小林委員
- 5 出席した職員 鹿間教育総務部長、松尾教育指導部長、
車谷教育総務部次長、杉本教育指導部次長、
尾崎教育指導部学校教育担当参事、
井上教育指導部部活動地域移行調整担当参事、
今津教育指導部教育支援推進担当参事、
真鍋教育指導部ダイバーシティ教育推進担当参事、
福本教育総務課長、松尾学務課長、横田学校施設課長
岡本社会教育課長、岡本学校教育課長、
青木学校教育担当課長、岡本教育支援課長、
坂本文化財調査研究センター所長、
宮本文化財調査研究センター副所長、
田中中央図書館副館長、
小浦中央図書館指定管理施設担当副課長、
吉田教育総務課副課長、竹内教育総務課管理調整係長
- 6 傍 聴 者 0人
- 7 議 事 の 要 旨
 - 開 会 午後2時00分
 - 会議録署名委員指名のこと
溝口委員に決定
 - 2月定例教育委員会の会議録報告承認のこと
(事務局から会議録朗読報告)
承認
 - 会議公開の可否決定のこと
全ての議事を公開することに決定

(協議事項)

1 令和6年度3月補正予算に係る意見について

(教育総務部次長から説明)

原案可決

委 員 : 中学校営繕事業において、減額補正の理由が、浜の宮中学校便所洋式化工事が不調になったためとある。

不調になったからといって、学校環境をそのままにしておくのは、生徒がかわいそうだが、どのように対応していくのか。

事 務 局 : 校舎内のトイレ工事のため、夏季休業のような長期休業期間で工事を実施することが望ましい。

今回の工事の発注は、夏季休業中に工事が実施できるよう春ごろに発注をかけたが、不調となり、以降は学校運営を考慮し、再度の発注は行わなかった。

今後の対応としては、令和7年度当初予算にて再度予算化し、工事できるように進めている。

教 育 長 : 中学校就学奨励事業の減額補正の理由について、認定者数の減少によるとあるが、全国的な傾向としては、認定者数は増加傾向にあるという認識であった。

その傾向とは異なるが、本市の認定者数の傾向はどのようなものか。

事 務 局 : 小学校と中学校で傾向は異なるように思う。

認定率について、中学校は横ばいではあるが、小学校は減少傾向にある。

幼児教育の無償化等により、共働き世帯が増えたからではないかと考えており、この傾向は、中学校にも波及していくものと推察している。

2 令和7年度当初予算に係る意見について

(教育総務部次長から説明)

原案可決

委 員 : 加古川小学校の児童クラブ設置工事について、近年児童数は減少していると聞くと聞くと、校舎内に児童クラブ等に活用できる空き教室は無いのか。

また、近隣市町では空き教室を地域に開放していると聞いたこともあるが、加古川市でそのような例はあるのか。

事 務 局 : 児童数については、委員がおっしゃるように減少しているが、学級編成人数が40人学級から35人学級に変わったことで、学級数は増えている現状がある。

特別支援学級数も増加傾向にあるため、学校には空き教室はほとんど

ない状態である。

また、校舎の一般的な開放は認知していないが、PTA等の会議のために、校舎内の教室を活用している事例はある。

事務局：児童クラブの他に、週1回チャレンジクラブという活動を実施している。

委員：事業概要について、「拡充」や「継続」という表現がある。

拡充の場合、前年度と比較してどの程度拡充しているのか、割合として示した方が分かりやすい資料になると思う。

債務負担行為について、事業によって年度設定が異なるが、何か基準等はあるのか。

建設費は、教育費の中でも非常に大きな割合を占めると認識している。

建設費を除いた場合の教育費はどのように推移しているか、また、全国的に見て、加古川市の建設費を除いた教育費の割合はどうか。

事務局：事業概要について、資料の表現等の見直しを検討したいと考える。

債務負担行為は、定例的な業務委託等であれば、3年間程度で設定することが多い。

資料中、期間が2年間のみの事業は、初年度である令和7年度分の支出は現計予算に計上しているためである。

また、期間が4年間以上となっている事業は、事業の性質上、契約期間を長期に設定しているため、それに合わせた債務負担行為期間を設定している。

教育費に係る建設費の推移について、昨年度と比較して大きな伸びは無いと認識しているため、教育費全体でも、大きな伸びはなく、横ばいではないかと考えている。

全国と比較した資料がないため、次回の定例教育委員会で示すことができるように調査していく。

委員：部活動地域展開に係る予算は、どのように措置していくのか。

また、不調のため3月補正で減額した浜の宮中学校便所洋式化工事の予算額は、令和6年度の予算額と比較して、令和7年度では大きな増額になっていないように思えるが、この予算額で工事が実施できるのか。

事務局：部活動地域展開について、令和7年度は、引き続き調査期間として考えており、他の自治体の事例等、調査を中心に進めていく予定である。

令和8年度以降に、施設の改修等含めた予算化が必要になると考えるが、現時点で予算主管課がどこになるのかについて、未定である。

浜の宮中学校便所洋式化工事は、適正な設計額を算出し入札したが不調となったもので、予算額は概算であり、令和7年度については、工事内容を見直した設計額となっている。

教 育 長 ： 特別教室の空調設置工事に係る今後の計画はどのようなになっているか。

事 務 局 ： 中学校から先行的に導入を進めていく計画で、令和7年度から令和8年度にかけて、義務教育学校を除く11校に設置する。

小学校は、中学校への設置が完了した後、続けて導入していく予定である。

なお、体育館の空調導入についても、今後計画の策定を進めていきたいと考える。

3 公立学校情報機器整備事業に係る各種計画について

(教育指導部参事から説明)

原案可決

教 育 長 ： P6の校務DX化チェックリストによる評価点について、学校設置者向けは600点満点中410点と県平均を超えているが、学校向けは990点満点中458点と県平均と近い数値となっている。

設置者向けと学校向けとで県平均と比較した際に差があるのは、何か傾向があるか。

事 務 局 ： 学校向けの方が県平均値と近くなっている要因について、調査項目が多岐に渡り、また、国から直接学校に依頼し調査していることから、学校ごとに質問に対する解釈が異なっていると考えられる。

国から各学校の回答内容を受領し、内容について精査していきたいと考えている。

教 育 長 ： P8に記載の大型モニターについては、まだ更新しなくても使用し続けることが可能という認識で良いか。

事 務 局 ： 使用方法にもよるが、現状のままであれば10年程度は更新なく使用することができると思込んでいる。

委 員 ： P6にて学校内連絡のデジタル化ができていないと回答する割合が一定数いるが、この層に対する現状の把握や改善方法等検討しているものがあれば教えてほしい。

事 務 局 ： 各学校の各教員に対して、どのように端末を活用しているのか等の個別調査は非常に難しいと思うが、利用率の低さについては、改善していきたいと考えている。

操作研修や事例集も周知しており、特に端末操作に係る研修の実施にあたり、指導主事を派遣した学校に関しては、利用率が上がっているという実績もある。

利用率をより改善するための方法を検討し、働きかけをしていきたい。

4 令和7年度 加古川市立学校教職員研究・研修計画について
(教育指導部参事から説明)
原案可決

委 員 : 研修を実施する際の講師は、どのような方がどのように選定されるのか。

事 務 局 : 毎年度教員に向けてアンケート調査を行い、ニーズのある研修や講師の把握、最新の教育内容に沿った講習内容、満足度の高い講師等を精査し、教育委員会で選定している。

5 加古川市登録有形文化財の登録について
(教育指導部次長から説明)
原案可決

委 員 : 石棺仏は全国的にあるものだと思っていたが、そうではないのか。

事 務 局 : 全国的にあるわけではない。加古川市や、近隣では加西市を全国と比較すると、石棺仏の数が多くあり、非常に特徴的な文化遺産である。

- 次期定例教育委員会予定日のこと
4月17日(木)午後2時から開催することに決定

○教育長諸報告

- (1) 令和7年第1回市議会(定例会)における代表質問について
- (2) 令和7年第1回市議会(定例会)における一般質問について
- (3) 令和7年第2回加古川市議会(定例会)日程(案)について

○ 教育委員諸報告

[土屋委員から]

- (1) 部活動地域展開について

現在、小学校及び中学校の体育館は、終業後の時間に社会体育の一環として他団体に貸出していると聞いている。

利用率が高く、新規で利用したい団体が利用しにくい状態があるとも聞いている。

今後、部活動の地域展開を進めていった場合、学校施設の利用方法について、公平に利用できるような仕組みを設けるのか。

事 務 局 : 委員がおっしゃるとおり、学校の終業後、一般の団体が体育館等を利用して活動している。

部活動を地域展開した場合も、学校施設を主な活動場所としていきたいため、学校施設の利用方法等の制度設計について、今後検討を進める。

(2) 個別学習について

教科指導する際、こどもの中で学力差があり、指導に困っているという意見を聞いたことがある。

学力が高いこども、低いこどもどちらにとってもかわいそうだと思う。

学力別に分けて指導することについて、抵抗があるかもしれないため、別の観点から班分けを行い、少人数制の指導を導入してもいいのではないかな。

事務局：例えば英語の指導については、端末を用いて、各々の学力に応じて学習内容を選択できるようにしている。

一斉授業だけでなく個別最適な学び、協働的な学びを重視した授業形態を、教員の意見も確認しながら、改善に向けて取り組んでいきたいと考えている。

教育長：英語に係る学力差は、数年前から危惧していることである。

加古川市で実施している水泳授業の指導業務委託でも、少人数制での指導を導入しており、児童生徒からも満足度が高いことが示されている。

こどもにとって授業が楽しい時間になるよう、ぜひ検討していただきたい。

〔播委員から〕

(1) 学校安全衛生委員会について

加古川中学校で開かれた学校安全衛生委員会に参加した。

教員が、不安・負担に感じていることについて、アンケートを通じて確認することができた。

時間を要する業務として上から順に「文書事務処理」「教科指導」が、負担と感じる業務として「文書事務処理」「部活動」「保護者対応」が、ストレスがかかる業務として「書類作業の多さ」が挙げられている。

この結果のように、業務として重要なのは理解できるが、「文書事務処理」が負担やストレスの上位になっており、何とか改善できればと思う。

事務局：極力文書作成業務が少なくなるよう、例えばグーグルフォームを活用したアンケート等のデジタル化や、書類作成を依頼する際には、教員間で資料を共有できるような仕組みを設けるなど、可能な限り負担軽減に繋がるよう支援していきたい。

また、他の自治体の事例等も参考にしながら、教育のDXについて進めていきたいと考える。

〔溝口委員から〕

(1) 第17回加古川教育フォーラムについて

令和7年2月22日開催の第17回加古川教育フォーラムに参加した。

休日にも関わらず大勢の教員が参加していて素晴らしいと感じた。

中学生が司会進行する場面があったが、大勢の前で堂々と、また前向きに取り組んでおり、感心した。

○ 教育総務部長諸報告

（教育総務部長から報告）

（１）就学援助（入学準備金）の申請受付について

入学準備金の申請受付を令和７年１月２７日（月）から２月１４日（金）まで行った。

以上、１件について報告

○ 教育指導部長諸報告

（教育指導部長から報告）

（１）社会教育委員会議の開催について

令和７年２月７日に、社会教育委員会議を実施した。

（２）第１７回加古川教育フォーラム、家庭教育大学全市研修会、PTCA活動支援事業研究大会アンケートまとめについて

第１７回加古川教育フォーラム、家庭教育大学全市研修会、PTCA活動支援事業研究大会アンケートの結果について報告した。

以上、２件について報告

○ 閉 会 午後４時００分